科目ナンバリング	U-LAS21 20007 SJ48						
授業科目名 <英訳>	ドイツ語IIＢ（CALL） D2351 German Audio-Visual Approach II B			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 吉村　淳一		
群	外国語科目群	分野(分類)			使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	金3	配当学年	２回生以上	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

初級ドイツ語で習得した文法の知識を活用して、ドイツ語の実践的なコミュニケーション能力を身につけることを目的とする。また同時に、ドイツ語圏の文化・社会・歴史についても理解を深める。外国語や異文化について学ぶことは、相手の立場に立つ手段を得ることであり、また母語や自国の文化への理解を深めることにも通じる。使いこなせる言語の数が増えれば、自分自身の世界も広がる。外国語を習得するためには、まずは文法の知識や語彙力を身につけ、実際にそれらを使って表現してみる必要がある。この授業では毎回、プリント教材で読解練習を行う。また視聴覚教材を使用して文化紹介も行う。初級文法や読解練習の教材（音声ファイルも含む）を電子ファイルで提供する。

[到達目標]

初級文法の応用ならびに中・上級文法の習得を目指す。また社会生活に必要となる語彙力の向上を図る。内容面では現代社会における問題と取り組むための素養を身につけることや情報を短時間で的確に取り出す能力を磨くことを目標とする。具体的には、以下のことを目標に掲げる。
・ドイツ語で一般教養について書かれた文章を、辞書などを使って読解することができる。
・習得した文法の知識を文章の読解や会話に活用することができる。
・書き言葉においても話し言葉においてもドイツ語の実践的なコミュニケーション能力を高める。
・文化の多様性について学び、自己や他者を理解する力を身につける。

[授業計画と内容]

読解能力の向上を図るため、ドイツ語で書かれた一般常識に関する文章を精読する。その際、既習のドイツ語文法の知識を活用して、事典などから情報を取り出す練習もする。日本文化、ドイツ国内の社会システム、EUの組織、ドイツやヨーロッパの歴史などのトピックスをはじめとして、非常にさまざまな分野から文章を選択し、文法知識の補強や読解力の向上だけでなく語彙力のアップをめざす。この授業では、ドイツ語の読解練習を行う。課題（模擬試験）に関してはGoogleフォームを使用する。また、音声・画像・映像を使用して、５分から１０分程度の文化紹介も行う。

授業の予定および読解練習で扱うトピックスは、概ね以下の通りとする。
第１～２回：初級文法の復習
第３～７回：日本文化に関するトピック（日本編）
第８～１４回：一般常識に関するトピック（ヨーロッパ編）
※模擬試験は第13回の時期に期間を設けてオンラインで行う。
＜定期試験（筆記試験）＞
第１５回：フィードバック

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

成績評価については、
学期末試験（筆記試験60%）、模擬試験（20%）、読解練習などの平常点（20%）に基づくものと

ドイツ語IIＢ（CALL） D2351(2)へ続く↓↓↓

ドイツ語IIB（CALL） D2351(2)

する。
※理由のない欠席や遅刻は減点対象とする（事情によっては減点対象としない）。
※欠席する場合には必ず事前に連絡すること。

[教科書]

プリント教材を使用する。講義資料は電子ファイルでも配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業で学んだ表現は何度も使用するので、普段から音読の練習をしておくこと（音声ファイルを配信する予定）。また読解練習については必ず準備してくること。講義資料は電子ファイルでも配布するので、自習（予習・復習）に役立ててもらいたい。授業期間中にも適宜指示を出す予定。

[その他（オフィスアワー等）]

KULASISで講義に関する連絡をするので、こまめに確認すること。

[主要授業科目（学部・学科名）]